	課程		共通課程					教養科目群		
						科目群		1110012		
授業科目		農業・農村の暮らし				科目コード		1110013		
代表教員		青山 浩子   成績責任者教員   青山 浩子								
担当教員 実務家教員担当科目				授業科目に関連する 担当教員の実務経験		本科目は、農業・農村の課題や発展に関する耳 もつ教員が担当する科目である。		収材や記事執筆等の実務経験を		
配当年次		1年				必修・選択区分選択		選択		
配当学期		後期		単位数		2単位		授業回数	15	
アクティブラーニン グ		-								
開講キ	ヤンパス	新潟キ	ャンパス							
【ディ	プロマ・ポリシ	- (卒業	認定方針)との関連性】							
知識・	理解		思考・判断		関心・意欲		態度		技能・表現	
食料産業を理解するこ		とがで	新たなビジネス創造を指向す ることができる		諸課題を解決する意欲を有す ることができる		地域の活性化や社会の発展に 寄与することができる		他者と協力して物事に取り組 み、成果を導くことができる	
0			0		0					
授業概要		農山漁村は、食料の生産・供給基地としての役割を担っている。しかし、少子高齢化による内需縮小、担い手の高齢化、一次産業の人材不足などの諸問題に直面している。一方、食品産業のグローバル化、情報技術の進展より、農山漁村に求められる役割、機能に大きく変化している。現在の農業・農村が果たす多面的な機能を理解した上で、新しい農業・農村のあり方や発展方向について習行する。								
到達目標		本科目では、まず、農業・農村が持つ食料生産基盤としての価値、農村特有の行動規範や生活態度などを習得する。次に、現在の農業・農村が抱える課題を理解した上で、課題解決につながる地域資源を活用した取組や企業等との連携方法等を学ぶ。それらを通じて、農業・農村が持つ多面的機能や魅力をいかしながら、農業・農村を発展させる方法を考えるための基本的知識を身につけることを目標とする。								
回数	数 授業計画						担当教員			
1	ガイダンス(授	受業のねらいと進め方、評価方法説明)、序説(農業、農村の暮らしを学ぶ意義)								
2		 らしと仕事						青山浩子		
_	農山漁村の暮ら	しと仕	<b></b>						青山浩子	
3	農山漁村の暮ら		-							
	農山漁村が担う	5 機能、(	-						青山浩子	
3	農山漁村が担意	が機能、化	価値、課題						青山浩子	
3	農山漁村が担う 食料生産基盤と 農山漁村の地域	が機能、インスの最大の対象を表現である。	世値、課題	・ストラン	ン等				青山浩子	
3 4 5	農山漁村が担意 食料生産基盤と 農山漁村の地域 農山漁村の地域	が機能、付金しての最大資源の対象では、	価値、課題 農業農村の価値 活用①農産物直売所		ン等				青山浩子 青山浩子 青山浩子	
3 4 5 6	農山漁村が担急 食料生産基盤と 農山漁村の地域 農山漁村の地域 農山漁村におり	が機能、イ としての	価値、課題 農業農村の価値 活用①農産物直売所 活用②農産加工、農家レ	の連携					青山浩子 青山浩子 青山浩子 青山浩子	
3 4 5 6 7	農山漁村が担急 食料生産基盤と 農山漁村の地域 農山漁村におけ 農山漁村におけ	が機能、インスの最大な資源の対域資源の対する新たった。	価値、課題 農業農村の価値 活用①農産物直売所 活用②農産加工、農家レ なビジネス(1)企業と	の連携	-Z				青山浩子 青山浩子 青山浩子 青山浩子 青山浩子	
3 4 5 6 7 8	農山漁村が担急 食料生産基盤と 農山漁村の地域 農山漁村におけ 農山漁村におけ 農山漁村におけ 日本の農業・農	が機能、イントでの としての 成資源の 対資源の 対る新たっ 大る新たっ と と は で は で は で に で の に で に で に で に で に で に の に の に の に に の に に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に に に に に に に の に に に に に に に に に に に に に	価値、課題 農業農村の価値 活用①農産物直売所 活用②農産加工、農家レ なビジネス(1)企業と なビジネス(2)米関連の	の連携のビジネ気候変動	- Z				青山浩子 青山浩子 青山浩子 青山浩子 青山浩子 青山浩子	
3 4 5 6 7 8	農山漁村が担急 食料生産基盤と 農山漁村の地域 農山漁村におけ 農山漁村におけ 農山漁村におけ 日本の農業・農	が機能、イントでの が機能、イントでの が表演源の が対象がある が表示する が表示する が直直 としての が表演源の がする 新たっ は着いでする がでする にはい にはいる にはい にはい にはい にはい にはい にはい にはい にはい	価値、課題 農業農村の価値 活用①農産物直売所 活用②農産加工、農家レ なビジネス (1)企業と なビジネス (2)米関連の 面する課題と対応 (1) : 面する課題と対応 (2)	の連携のビジネ気候変動	- Z				青山浩子 青山浩子 青山浩子 青山浩子 青山浩子 青山浩子 青山浩子	
3 4 5 6 7 8 9	農山漁村が担急 食料生産基盤と 農山漁村の地域 農山漁村におい 農山漁村におい 農山漁村におい 日本の農業・農	が機能、イントでの最大 としての最大 成資源の対 対資源の対 かった。 はる新たった。 はとしての最大 は、 は、 は、 は、 は、 は、 で、 は、 で、 は、 で、 は、 で、 は、 で、 は、 で、 は、 に、 に、 に、 に、 に、 に、 に、 に、 に、 に	価値、課題 農業農村の価値 活用①農産物直売所 活用②農産加工、農家レ なビジネス (1)企業と なビジネス (2)米関連の 面する課題と対応 (1) : 面する課題と対応 (2)	の連携のビジネ気候変動	- Z				青山浩子 青山浩子 青山浩子 青山浩子 青山浩子 青山浩子 青山浩子	
3 4 5 6 7 8 9 10	農山漁村が担急 食料生産基盤と 農山漁村の地域 農山漁村におい 農山漁村におい 農山漁村におい 農山漁村におい 日本の農業・農 農業で広まる多 内発型地域づく	が機能、インスでは、 をしての最 成資源の 対資源の 対する新たった。 する新たった。 はき、はでは、 はでは、	価値、課題 農業農村の価値 活用①農産物直売所 活用②農産加工、農家レ なビジネス (1)企業と なビジネス (2)米関連の 面する課題と対応 (1) : 面する課題と対応 (2)	の連携のビジネ気候変動人材確保	- Z				青山浩子 青山浩子 青山浩子 青山浩子 青山浩子 青山浩子 青山浩子 青山浩子	
3 4 5 6 7 8 9 10 11	農山漁村が担急 食料生産基盤と 農山漁村の地域 農山漁村におけ 農山漁村におけ 日本の農業・農 日本の農業・農 農業で広まる多 内発型地域づく	が機能、付出ての別が表現である。 は資源の分ける新たった。 は表現である新たった。 は表現である。 は表現である。 は表現である。 は表現である。 は、表現である。 は、表現である。 は、表現である。 は、の、の、の、の、の、の、の、の、の、の、の、の、の、の、の、の、の、の、の	価値、課題 農業農村の価値 活用①農産物直売所 活用②農産加工、農家レ なビジネス (1)企業と なビジネス (2)米関連 面する課題と対応 (1) : 面する課題と対応 (2)	の連携のビジネ気候変動人材確保	- Z				青山浩子 青山浩子 青山浩子 青山浩子 青山浩子 青山浩子 青山浩子 青山浩子	
3 4 5 6 7 8 9 10 11 12	農山漁村が担急 食料生産基盤と 農山漁村の地域 農山漁村におけ 農山漁村におけ 日本の農業・島 日本の農業・島 農業で広まる多 内発型地域づく 都市から農村へ 農山漁村と環境	が機能、インスの別のでは、 は、大きなでは、 は、大きなできます。 は、大きなできます。 は、大きなできます。 は、大きなできます。 は、大きなできます。 は、大きなできます。 は、大きなできます。 は、大きなできます。 は、大きなできます。 は、これできますなできます。 は、これできますなできます。 は、これできますなできますなできますなできますなできますなできますなできますなできますな	価値、課題 農業農村の価値 活用①農産物直売所 活用②農産加工、農家レ なビジネス (1)企業と なビジネス (2)米関連の なビジネス (2)米関連の する課題と対応 (1) : 面する課題と対応 (2) がの活用	の連携のビジネ気候変動人材確保					青山浩子 青山浩子 青山浩子 青山浩子 青山浩子 青山浩子 青山浩子 青山浩子	
3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13	農山漁村が担急 食料生産基盤と 農山漁村の地域 農山漁村におい 農山漁村におい 農山漁村におい 日本の農業・島 農業で広まる多 内発型地域づく 都市から農村へ 農山漁村と環境 まとめ(全体を	が機能、インスでは、 は、大きなでは、大きなできる。 は、大きなできるできる。 は、大きなできるできるできる。 は、大きなできるできるできるできるできるできるできるできるできるできるできるできるできるで	価値、課題 農業農村の価値 活用①農産物直売所 活用②農産加工、農家レ なビジネス (1)企業と なビジネス (2)米関連の なビジネス (2)米関連の する課題と対応 (1) : 面する課題と対応 (2) 材の活用 の動き・若者による起業	の連携のビジネ気候変動人材確保	いての説明)	0%)			青山浩子 青山浩子 青山浩子 青山浩子 青山浩子 青山浩子 青山浩子 青山浩子	
3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15	農山漁村が担急 食料生産基盤と 農山漁村の地域 農山漁村におい 農山漁村におい 農山漁村におい 日本の農業・島 農業でで地域づく 都市から農村へ 農山漁村と環境 まとめ(全体を 法	・機能、 ( ) 機能、 ( ) 機能、 ( ) 関源 ( ) のののののののののののののののののののののののののののののののののの	価値、課題 農業農村の価値 活用①農産物直売所 活用②農産加工、農家レ なビジネス (1)企業と なビジネス (2)米関連 面する課題と対応 (1) 面する課題と対応 (2) 材の活用 の動き・若者による起業 SDGsの視点から) のポイントの再確認、試	の連携のビジネ気候変動気候変動	.ス				青山浩子 青山浩子 青山浩子 青山浩子 青山浩子 青山浩子 青山浩子 青山浩子	

事前学習						
事前学習時間 (分)	120分	事前学習内容	授業テーマに関する資料収集を行う。			
事後学習						
事後学習時間(分)	120分	事後学習内容	配布した資料及び授業中のノートなどを復習し、課題レポートを指示した場合は、期日までに作成及び提出をする。			
備考 来訪時は事前にメールでアポイントメントをとること						
担当教員連絡先メールアドレス	hiroko-aoyama@nafu.					

## 【ディプロマ・ポリシー(卒業認定方針)】

本学を卒業するために身につけるべき力(知識・理解・技能・姿勢)を定める基本的な方針

知識・理解	食品や農産物に関わる専門知識を有し、それらの生産から加工、販売までを一連のフードチェーンとして捉え、成長産業としての食料産業を理解することができる。
思考・判断	修得した専門知識に基づき、食料産業において、マーケットインの発想をもって、新たなビジネス創造を指向することができる。
関心・意欲	国内外の食料、農業、経済、環境をはじめとする社会の情勢に関心をもち、諸課題を解決する意欲を有することができる。
態度	食料・農業に関する新たな価値を創出し、地域の活性化や社会の発展に寄与することができる。
技能	サイエンス・テクノロジー・ビジネスの能力を兼ね備え、自らの思考・判断の経緯や結果を論理的に説明でき、他社と協力して物事 に取り組み成果を導くことができる。